

【道路建設課所管 社会資本総合整備計画評価審議資料】

○計画の名称

1) 人・モノの交流拡大につながる活力ある岐阜県づくり [※継続審議案件]

・説明資料（パワーポイント）

・・・p1～3

事後評価 社会資本総合整備計画

【人・モノの交流拡大につながる活力ある岐阜県づくり】

 県土整備部道路建設課
令和2年11月18日

1

R2第2回岐阜県事業評価監視委員会議での指摘事項



「委員会の審議内容等について概要を記した議事要旨」より抜粋

指摘①

1/4の事業費の範囲の中で、できるだけ効果を高められる事業箇所を選定し11の事業箇所を実施したということならば、計画段階がどのようなもので、どのような効果を見込むために11箇所を選定して、その結果について説明がなければ、審議することは不可能ではないか。

指摘②

このアウトカムを達成するための手段であるべき事業の進捗が著しく遅れていることに関して、どう対応するのか。

→継続審議

効果の発現状況①

(国)248号 大針工区

- 整備箇所：多治見市北丘町～多治見市大針町
- 全体延長：L=1,540m
- 総事業費：約15億円
- 完成：平成27年度

- 四車線化により慢性的な混雑解消
- 中央自動車道「多治見IC」へのアクセス性向上
- 人・モノの交流拡大に寄与

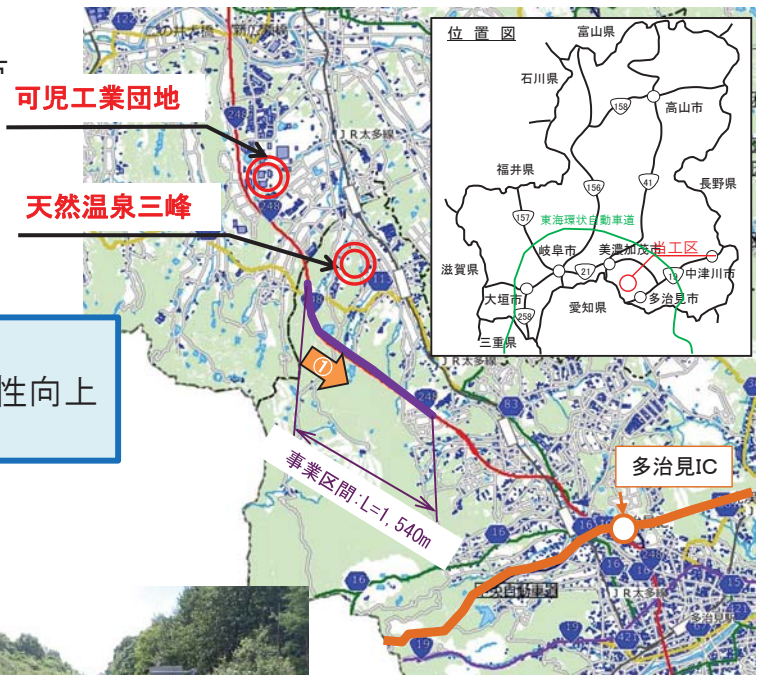
○完成前後の状況



整備前（混雑状況）



整備後（混雑解消状況）



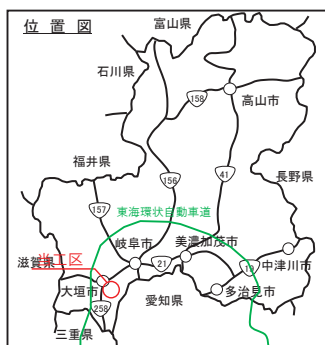
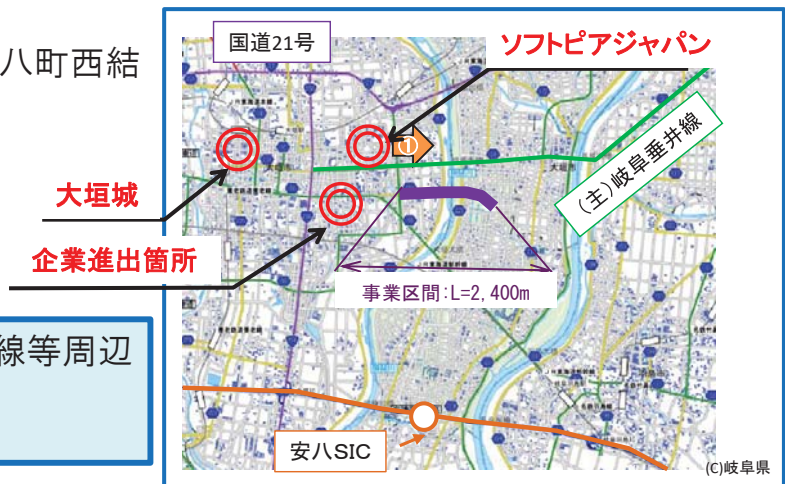
3

効果の発現状況②

(一)大垣江南線 小泉・西結工区

- 整備箇所：大垣市小泉町～安八郡安八町西結
- 全体延長：L=2,400m
- 総事業費：約120億円
- 完成：平成27年度

- 並行する国道21号及び(主)岐阜垂井線等周辺道路の渋滞解消
- 人・モノの交流拡大に寄与



○完成前後の状況((主)岐阜垂井線)



整備前(混雑状況)

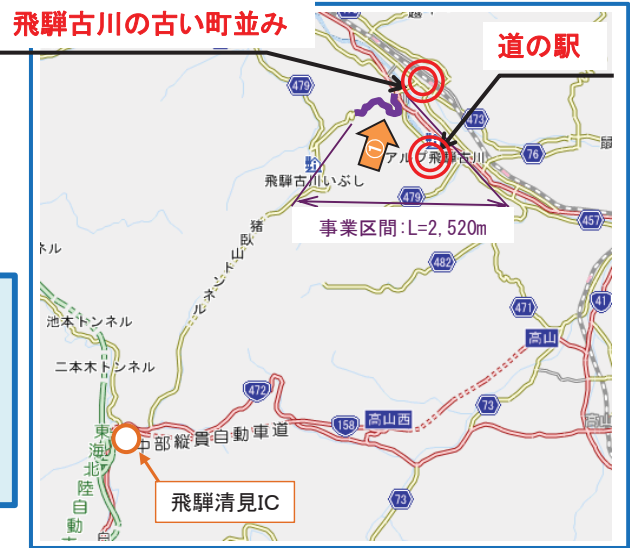


整備後(混雑解消状況)

4

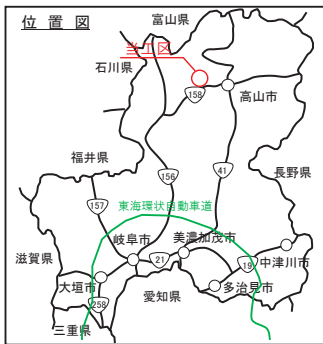
(主)古川清見線 平岩工区

- 整備箇所：飛騨市古川町高野～同町平岩
- 全体延長：L=2,520m
- 総事業費：約29億円
- 完成：平成29年度



- 道路拡幅等による観光客の安全で円滑な通行を確保
- 東海北陸自動車「飛騨清見IC」から古川町へのアクセス性向上
- 人・モノの交流拡大に寄与

○完成前後の状況



整備前（幅員3.6m区間）



整備後（2車線整備）

5

対応方針(案)

◆計画の成果目標（定量的指標）について

- ・限られた予算の中、事業箇所に優先順位をつけ予算配分することで、道路の整備を一因とした、産業や観光の面での人・モノの交流拡大に一定の成果を上げることができた。

◆今後の方針

- ・県土整備部の考え方
「社会資本総合整備計画は、掲げた目標を達成することを第一の目的とするが、目標達成結果に関わらず、予算や事業環境により進捗が遅れた事業箇所がでてきた場合は、後続の計画に引継ぎ、事業箇所の整備も進めていくよう努める」



- ・さらなる人・モノの交流拡大に向けて、予算の確保に努め、進捗が遅れた事業箇所も含め、計画的に道路整備を進めていく。